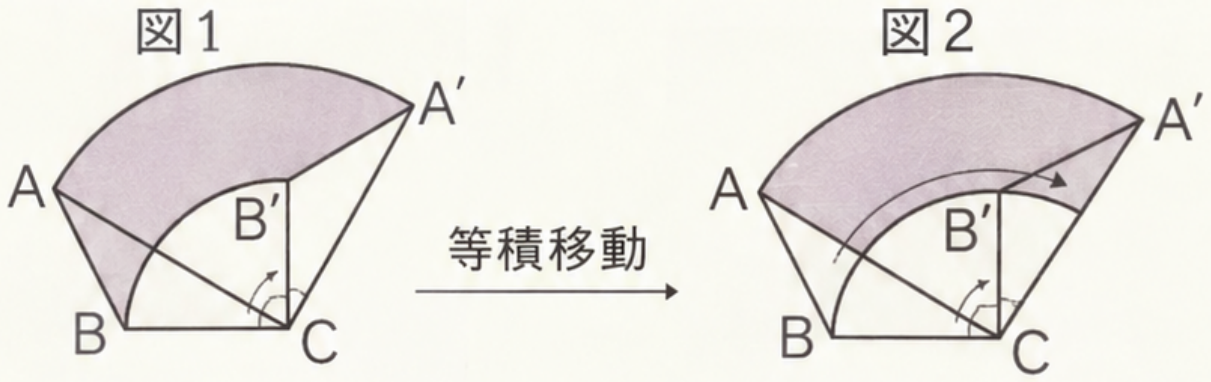
等積変形・等積移動の基礎と実践

● 等積変形・等積移動とは？

図形の面積を変えずに、形だけを別の形に変えることです。
おうぎ形や三角形、四角形に形を変えて、
面積を求めます。

中学受験の算数では、時間内に解くために必須のテクニックです。

● 補助線＋等積移動：補助線を引いて等積移動する

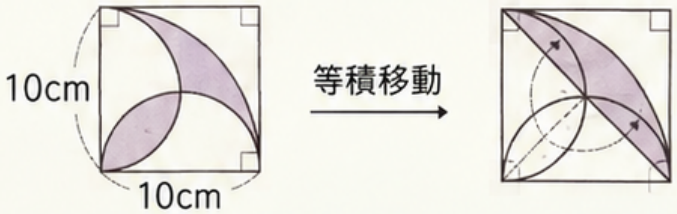


等積移動は、そのままでは面積を求めづらい問題を解くために
図形の一部を移動させ、おうぎ形や三角形、四角形を作って
面積を求めます。

ある程度パターン化されているので、何度もやっていると
覚えてしまえます。

また、中学受験の算数入試問題レベルになると、等積移動させないと、
あるいはパターンを知らないと（少なくとも時間内には）解けない問題
というのが基本になっていたりします。

● 等積移動・等積移動の例：かげの部分の面積



かげの部分の面積

$$=10\times10\times3.14\times\frac{90}{360}-10\times10\div2$$

$$=28.5(\mathrm{cm}^2)$$